



**ほ** たか野の花は、「就労継続支援B型」事業所として、知的・精神・発達障がい、ひきこもりの皆さんが軽作業などの就労訓練を行っています。仕事の内容は、製菓や喫茶、工芸などさまざま、利用者の皆さんは障がいや体調に合わせて自分のペースで働いています。そして、利用者の皆さんが作ったお菓子を提供するカフェ「だ・もんで」も運営しています。

昨年からは、毎月第3木曜日の午後3時から5時の間、ひきこもりの人の居場所支援として「ふらっとカフェ木曜倶楽部」を開いています。本やゲーム、プラモデルや手芸など自分の好きなものを持ち込んで、自由な時間を過ごせます。

## 生きづらさを抱える方へ 心安らぐ居場所を。

スタッフの皆さんは、「私たちと無理に言葉を交わさなくてもいいんです。毎月この日は家から出て『だ・もんで』でくつろぐ。まずは、そんな気持ちで訪ねてきてくれれば嬉しいですね」と話します。

## 自分のペースでつながれる場所。

**縁** 側処だいたい、認知症ケアに特化したデイサービス運営しています。その他、オレンジカフェや介護予防としての健康体操教室を行うなど、地域の皆さんも気軽に訪れてもらえるような、開かれた場所づくりを目指しています。

実際に、事業所が地域に溶け込んでいくことで、新たなつながりも生まれています。「だいたい」の庭先には畑があり、地域行事をきっかけに知り合った地域の人が、野菜作りを教えてくださいました。トマトやナス、スイカ、ネギやサツマイモなど、多くの野菜を育てて収穫し、利用者の皆さんと美味しく



ただくこともできました。

「だいたい」は、アットホームな雰囲気の中、利用者の皆さんが特技や趣味を生かした活動ができるよう、スタッフも一人一人に寄り添った対応を心掛けています。管理者の小澤さんは、「この1

月から、ひきこもりの方の居場所として利用いただけるよう準備をしてきました。『縁側の間』や『のどか』など、空いている部屋でゆったりと過ごしてもいいし、お年寄りの皆さんとお茶を飲んだり、話したりしてくれてもいいです。この『だいたい』で一緒に時間を」と笑顔で応えてくれました。

## 相談窓口のご案内 ID 75827

相談無料・要予約・概ね15歳～64歳が対象

### ● 福祉課障がい福祉担当

保健師が相談に応じます。  
日時：平日 9:00～16:00  
場所：市役所 ☎71・2251

### ● NPO 法人 Gland Riche (グラント・リッシュ)

自宅へ訪問するアウトリーチや、公認心理士によるご本人やご家族へのカウンセリングを行います。☎090・5498・0905

### ■ 家族交流会

家族同士がつらい気持ちや不安を語り共有することで、抱えている悩みを解消しませんか。年4回、土曜日の午後開催。参加を希望する人はご連絡ください。申し込み：福祉課 ☎71・2251

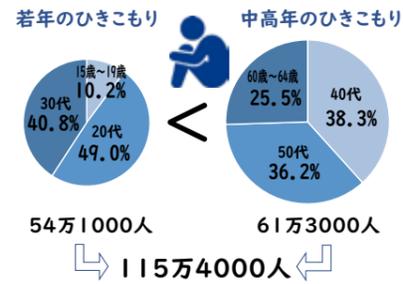
### ● NPO 法人ほたか野の花

まずはメールでご相談ください。メール返信は、月～土曜日の16:00～18:00  
☎nono87official@gmail.com

### ● NPO 法人アルウィズ

まずはメールでご相談ください。メール返信は、月・火・木・金・土曜日  
☎alkomo1998@gmail.com

気軽に  
ご相談ください！



※2015(15～39歳)、18年(40～64歳)の内閣府調査をもとに作成。後者では20年以上ひきこもる人が19.1%、長期高齢化が進んだ。

「ひきこもり」とは、学校や仕事などの社会活動に参加せず、他者との交流を避けて半年以上家庭にとどまり続けている状態のことです。内閣府による調査では、ひきこもりの人の推計は、全国で115万人以上と推計され、長期化や親の高齢化が

**長期化や高齢化が課題に**

「ひきこもり」は青少年だけの問題ではありません。社会全体のつながりが希薄化している現代。さらに、新型コロナウイルスの影響により孤独・孤立の問題が、年齢に関わらず一層浮き彫りになっています。地域で取り組む、ひきこもり支援を紹介します。

問題となっています。ひきこもりは、誰にでも、どの家庭にも起こり得ることですが、長く続くと本人も家族も年齢を重ねて回復が難しくなることがあります。

**充電に必要な「ひきこもり」**

ひきこもりの状態にある人や家族は、それぞれ異なる経緯や事情を抱えています。また、ひきこもって充電することが、生き続けるための選択として必要な時期があり、本人が安心して充電できる環境と周りの理解が大切となります。

従来から取り組んでいた「相談」支援だけではなく、自分の家以外に居ることのできる「居場所」を提供するカタチでの支援が、市でも広がっています。

## 誰かがそっとしてくれる。そんな「居場所」があります

ひきこもり状態にある人が社会に踏み出すステップとして、安心して過ごせる「居場所」が市内に2カ所あります。自分が居たいようにいられる場として、自由に過ごせる空間。でも、決して独りではなく、誰かがそっとしてくれる居場所。地域でのつながりを、時間を、一緒に共有していきませんか。

### ★ カフェ「だ・もんで」 ひきこもりの人の居場所支援



◀ NPO 法人ほたか野の花  
日時：毎月第3木曜日15:00～17:00  
場所：穂高4313-1 ☎31・6438  
旧穂高宿の落ち着いた街並みの中にたたずむ築100年の古民家を改装したカフェ。室内には、本・漫画が書棚に並び、freeWi-Fiも備えている。

### ★ 縁側処「だいたい」



浅野さん、今井さん、征矢野さん

### ☁ NPO 法人アルウィズ▶

日時：月・火・木・金・土曜日(水・日休み) 9:00～16:00 場所：三郷明盛4633 ☎88・3200  
空き家になった一軒家を活用し、三郷でデイサービスを運営。地域の皆さんが集い、縁側のような温かく、居心地の良い場所づくりを心掛ける。



太田さん、小澤さん、吉田さん